

Dell Technologies Continuously Modern Storage

デル・テクノロジーズのイノベーションによって、データの場所を問わずデータからより多くの価値を引き出せる

Scott Sinclair（プラクティス ディレクター）

2023年7月

目次

クリックして詳細を確認



はじめに

3ページ



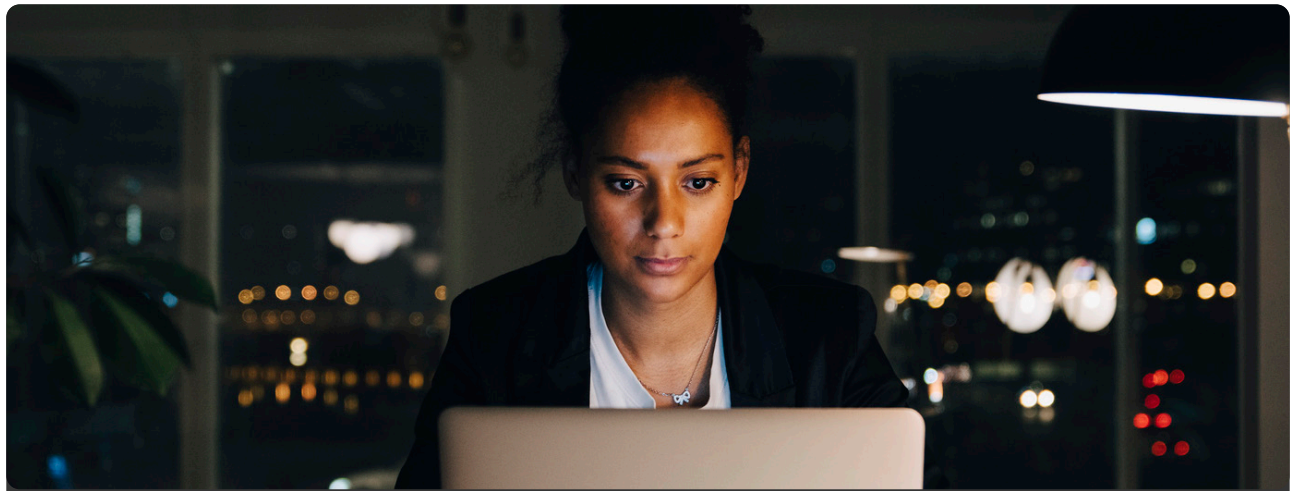
ITインフラストラクチャを見直す
IT運用を迅速化させてデジタル時代での競争力を強化

4ページ



ITインフラストラクチャを見直す
イノベーションの実現に不可欠なセキュリティ

7ページ



ITインフラストラクチャを見直す
マルチクラウド インフラストラクチャのシンプル化

11ページ



**オンプレミスのモダナイズと
Dell Technologies Continuously
Modern Storage**

13ページ



まとめ

19ページ

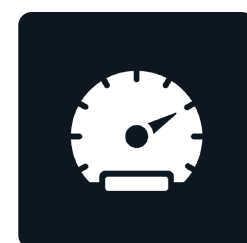
調査の目的

現代のデータに基づく経済において、ビジネスの成功、または逆にビジネスの課題は、多くの場合、データの価値を最大限に生かすことのできる企業の能力と直接結び付いています。企業でデータとそのデータを管理するITチームへの要求が高まっていることにより、ITリーダーはデータストレージ インフラストラクチャに何を求めるのかを見直す必要があります。

デジタルに対する需要の規模、すなわちビジネス関連のニーズの増大が、IT組織が1か所に対応できる水準ではなくなっているからです。これは、オンプレミス、オフプレミス、クラウド、データセンターのいずれであっても変わりません。そこで、今後も当面の間は、パブリッククラウド サービスとプライベート データセンターを併用した分散運用が不可欠であると思われます。現在さまざまな企業が、オートメーションの促進、セキュリティの強化、クラウド サービスとのシームレスな統合を実現しながら、データセンター内部も含めたITインフラストラクチャ全体の敏捷性と運用効率を高める必要に迫られています。

TechTargetのEnterprise Strategy Groupは、このようなトレンドを把握するため、北米（米国とカナダ）の組織に在籍する数百人の（インフラストラクチャの評価、購入、管理、構築を担当する）ITプロフェッショナルを対象とした複数の調査研究に基づいてインサイトをまとめました。

主な調査結果：



組織はIT運用を迅速化させて、デジタル ビジネスイニシアティブをサポートする必要があります。



企業はマルチクラウドの運用をシンプルにして、需要に対応する必要があります。



ランサムウェアなどのサイバー攻撃の脅威がまん延するに伴い、イノベーションにおいて、セキュリティおよび保護が不可欠になっています。



マルチクラウド戦略において、オンプレミスのモダナイズは欠かすことのできない要素です。

A man with a beard and short hair, wearing a dark blue jacket over a light blue t-shirt, is looking upwards with a thoughtful expression. He is holding a tablet computer. The background is a server room with rows of black server racks and blue cables. The lighting is dim, with some light coming from the server racks.

ITインフラストラクチャを見直す
IT運用を迅速化させてデジタル
時代での競争力を強化

「
ビジネスをデータに基
づいて構築すると、
適切なデータストレージエ
コシステムを開発して、競
争に勝つことができます」

- Enterprise Strategy Group、
プラクティスディレクター、*Scott Sinclair*

ビジネスはデータによって決まります。



59%



データが事業の要であると答えた**回答者の割合**



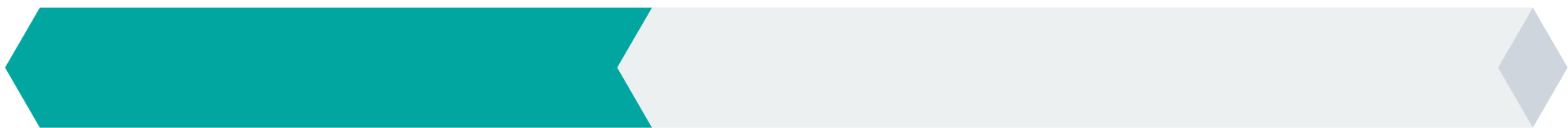
91%



3年前より**速い対応**を求められている**組織の割合**

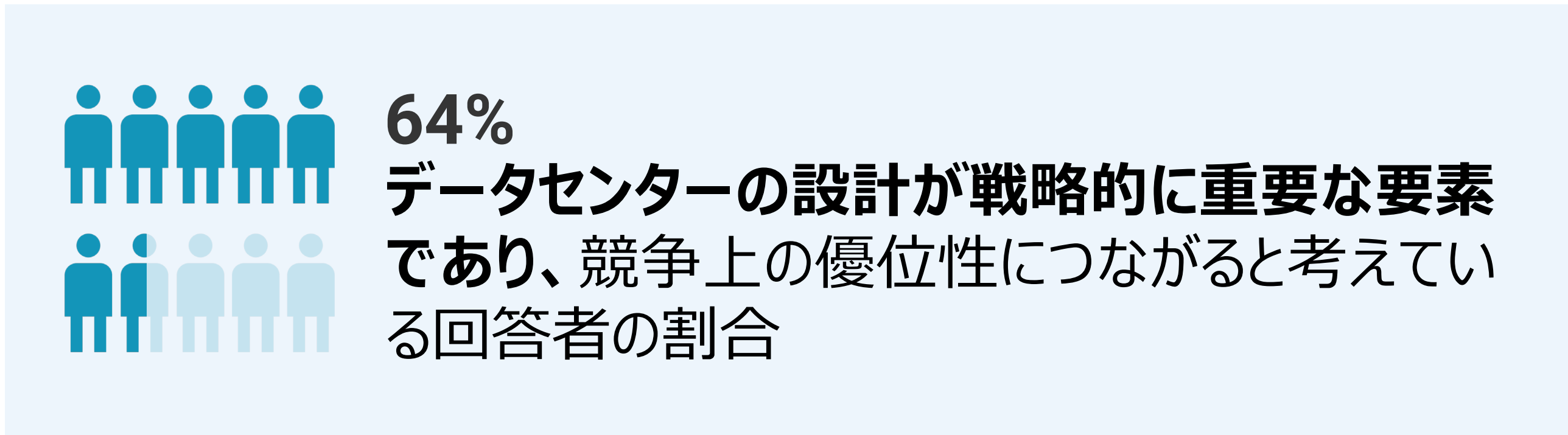
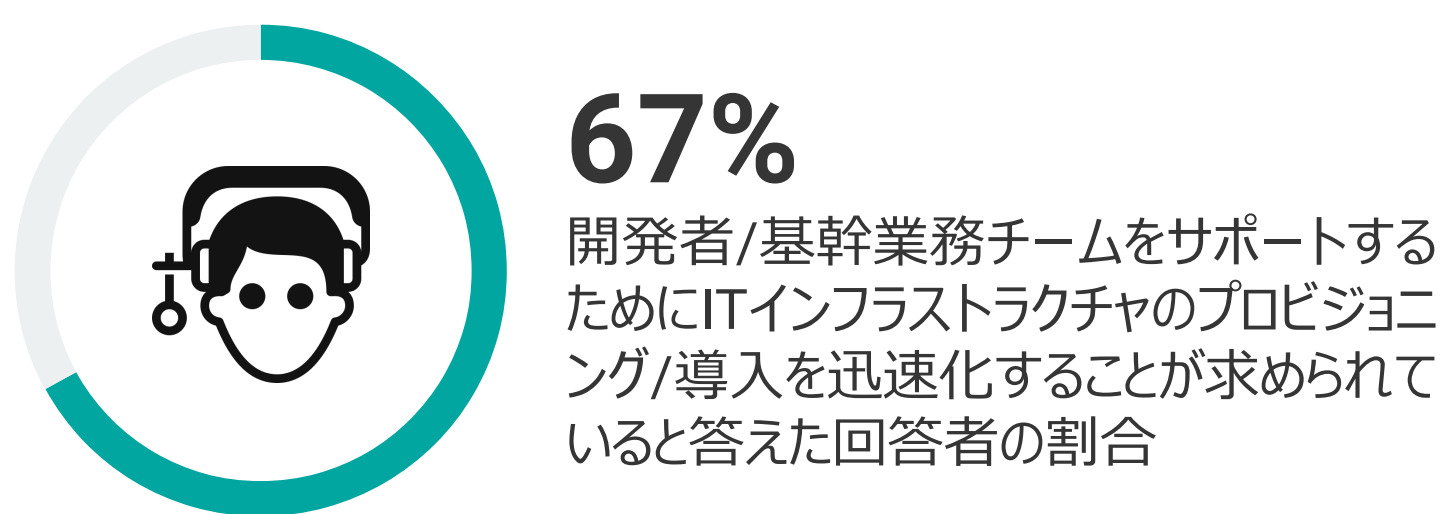
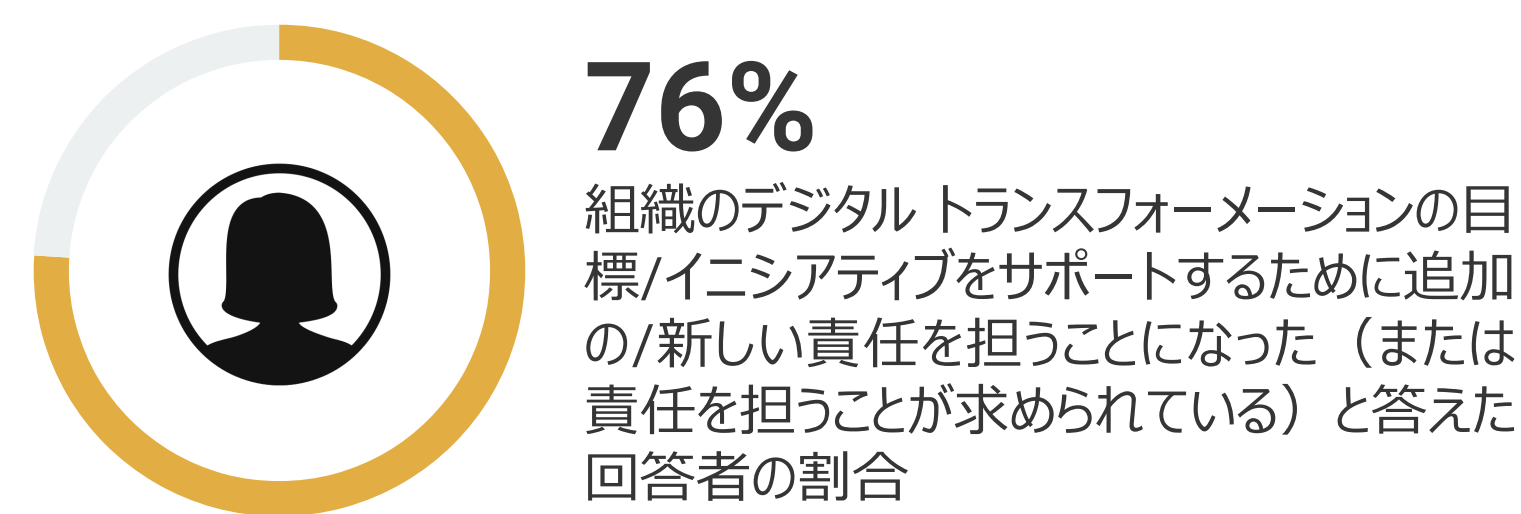
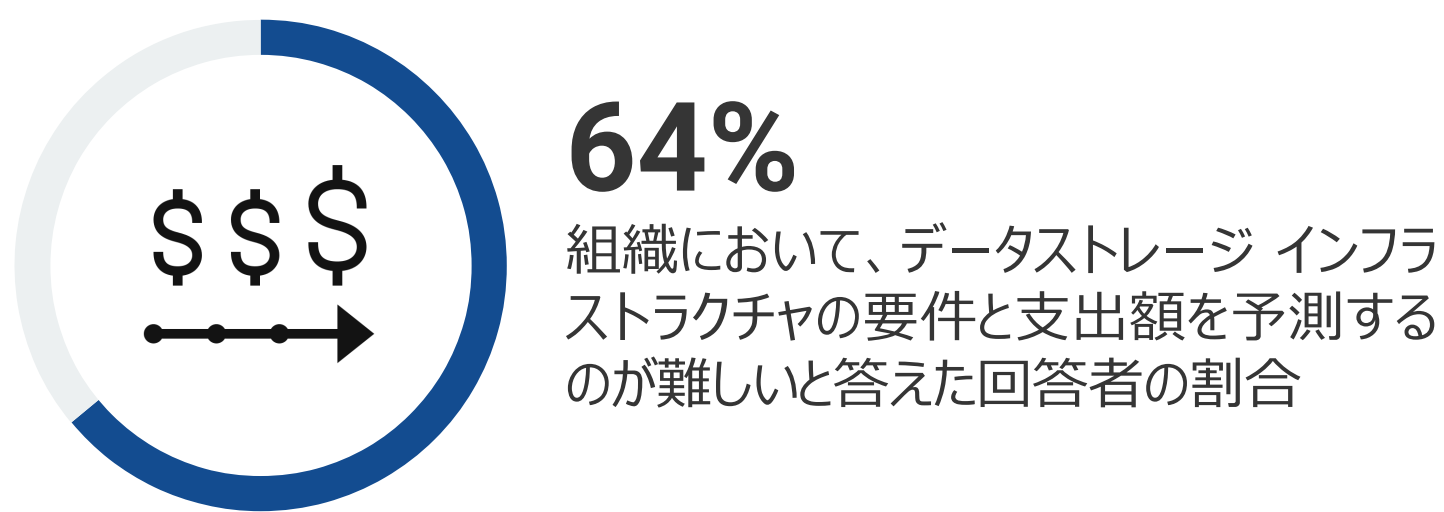
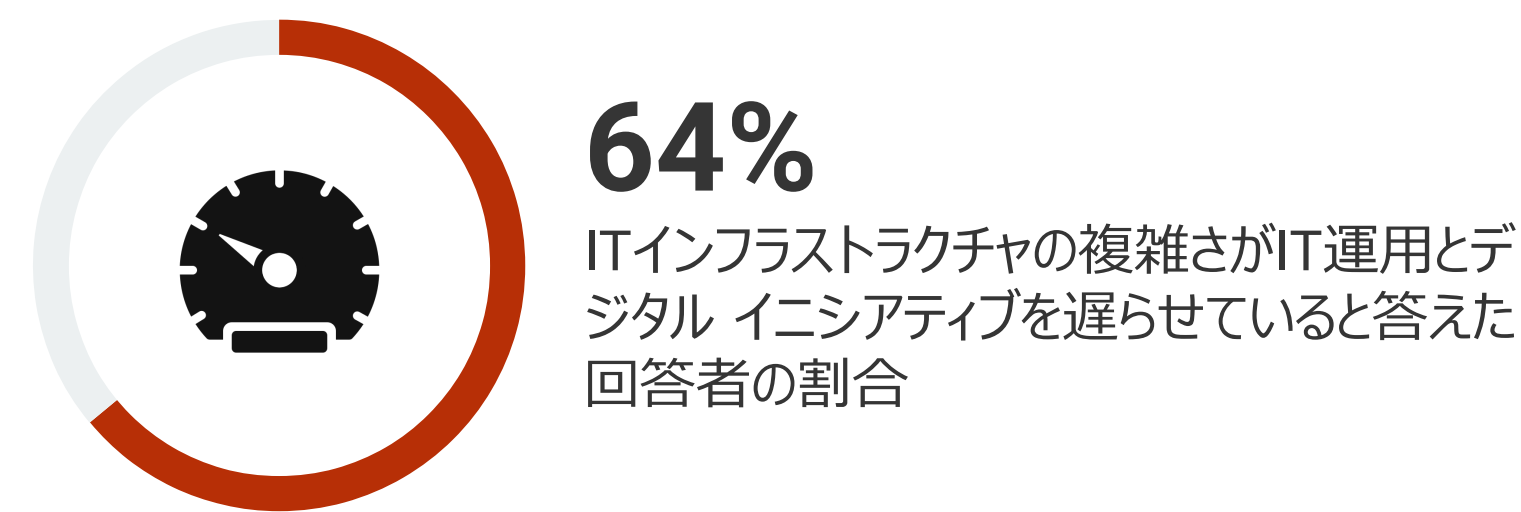


41%



50%を超える**運用の高速化**が求められている**組織の割合**

ITリーダーは、運用のシンプル化、オートメーション、および迅速化を実現するための、モダナイズかつ自動化されたインフラストラクチャを求めています。

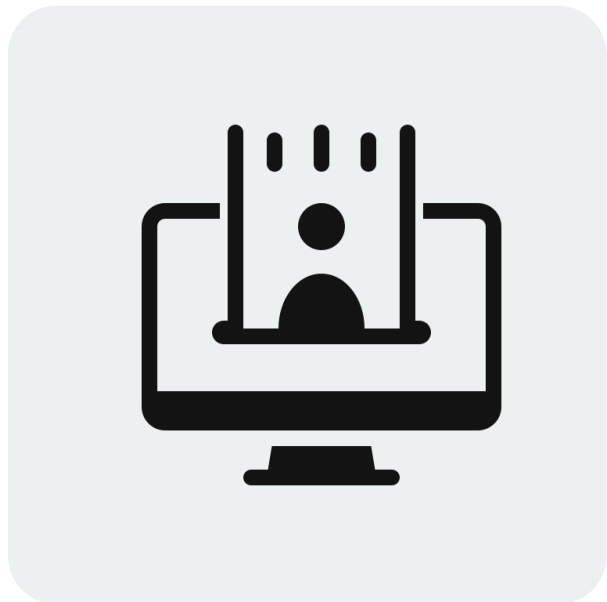
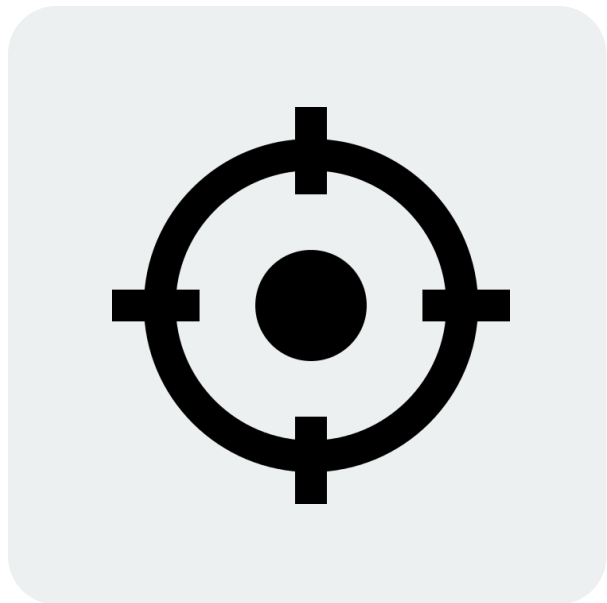


「シンプル化とオートメーションに投資しなければ、増大する複雑さによってIT運用は継続的に遅れ、事業運営が妨げられて最終的に停滞するでしょう。」

A man with a beard and glasses is seen from the side, looking at a large computer monitor. The monitor displays a world map with various network diagrams and data points. A red rectangular box highlights a specific area on the map. The overall scene is dimly lit, with the primary light source being the monitor's glow.

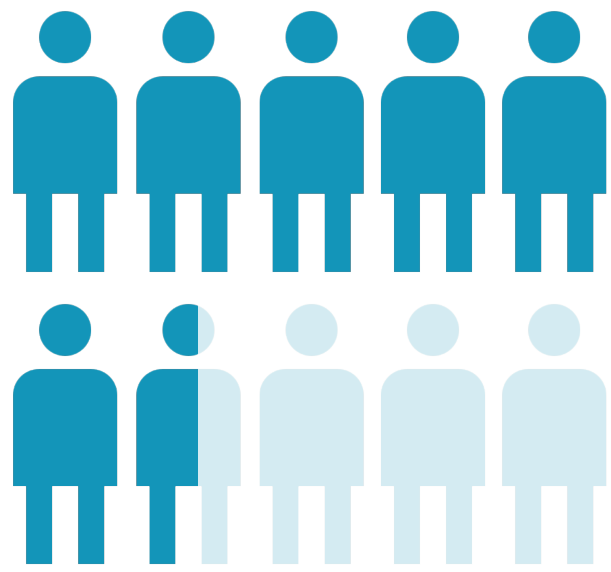
ITインフラストラクチャを見直す イノベーションの実現に不可欠な セキュリティ

ランサムウェア攻撃の脅威が広がっています。

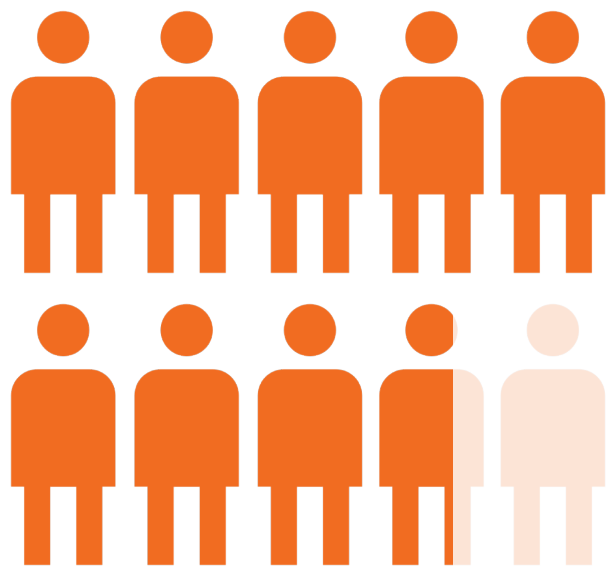


身代金を払ってもリカバリーできる保証がない現状

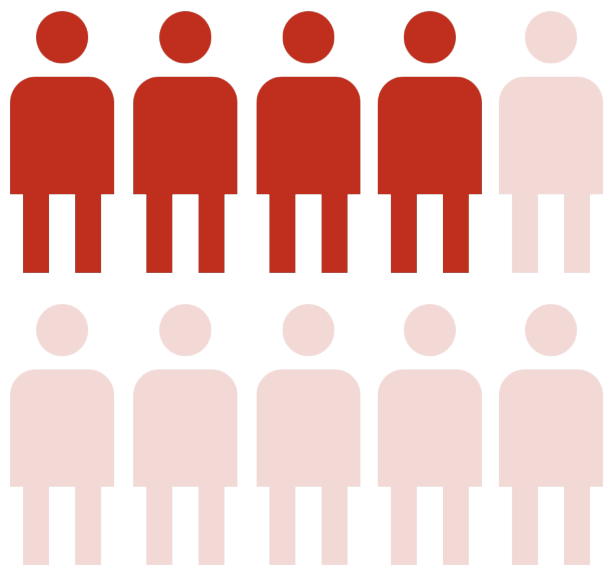
サイバー攻撃やランサムウェアの頻度は高まりつつあり、手口は巧妙化し、与える影響も大きくなっています。あらゆる企業や業界が危険にさらされており、特に、ランサムウェアは大きな課題となっています。大多数の攻撃が成功を収め、ほとんどの企業がデータのリカバリーを行うために身代金を支払っています。しかし、身代金を支払ってもリカバリーできる保証はなく、攻撃者にさらなる身代金を要求されてしまうケースが多く見られます。



56%
身代金を支払った
組織の割合



87%
身代金をさらに要求された組織の割合（その大半が実際に追加の身代金を支払っている）



わずか40%
身代金を支払った組織のうち、データの
75%以上をリカバリーできた組織の割合

半数を超える組織がデータのリカバリーのために身代金を支払ったものの、**恐喝は続いたと答えています。」**

「ITリーダーはインフラストラクチャが危険にさらされる可能性を想定する必要があります。」

ITリーダーは確実にイノベーションを行い、リスクを低減するために、安全なITインフラストラクチャを求めています。

サイバーセキュリティは、優先的に解決しなければならないIT課題であり、ランサムウェア攻撃の防止および検出と、攻撃からのリカバリーが行える必要があります。ITリーダーはインフラストラクチャが危険にさらされる可能性があることを想定し、ランサムウェア攻撃の保護および検出と、攻撃からのリカバリーを行うための計画とツールを用意しておく必要があります。



ランサムウェアに対する懸念は、2年前と比べて現在のほうが大きいと答えた回答者の割合



ランサムウェア対策がビジネスの優先事項の上位5つに入ると答えた回答者の割合

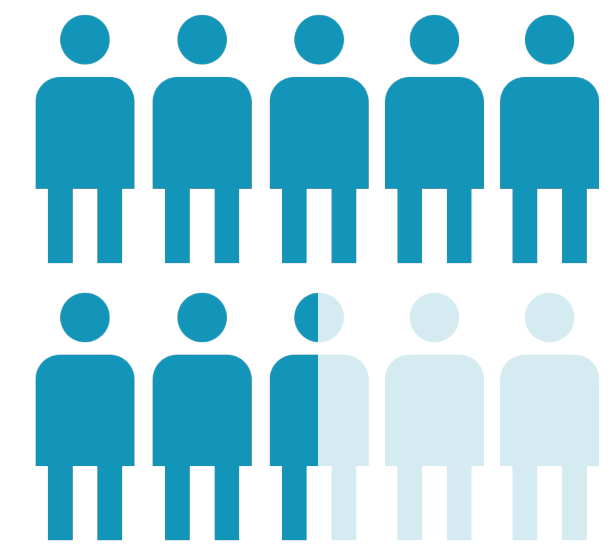
A woman with dark hair tied back, wearing a black blazer over a white shirt, is sitting at a desk in a dimly lit office at night. She is looking intently at a laptop screen. The desk has a glass of water, a smartphone, and a mug. In the background, a large window shows a city skyline with bokeh lights. A desk lamp is visible on the left.

ITインフラストラクチャを
見直す

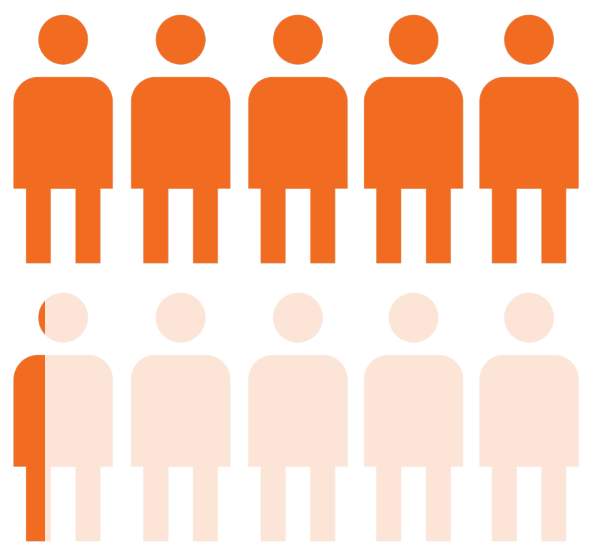
マルチクラウド インfras
トラクチャのシンプル化

「**俊敏性を高め、運用を高速化するため、オンプレミス インフラストラクチャはクラウド プロバイダーとの統合が可能でなければなりません。」**

ITリーダーは分散マルチクラウド環境全体の敏捷性を高める必要があります。



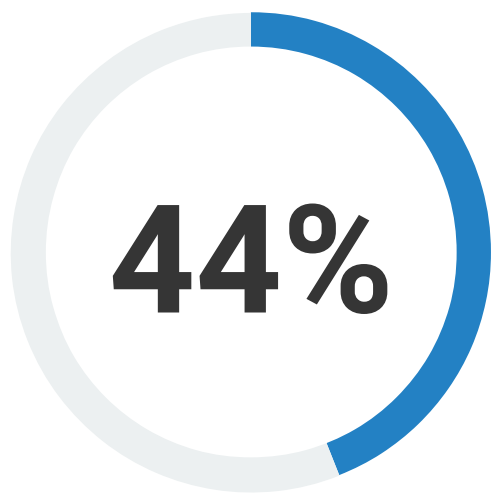
75%
パブリッククラウド インフラ
ストラクチャ サービスを利用
している組織の割合



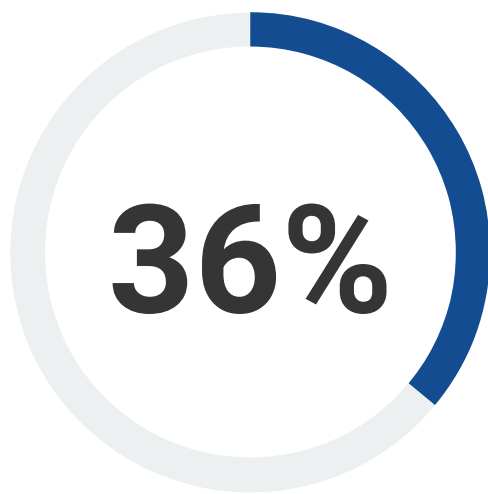
53%
3社以上のプロバイダーを
利用しているクラウド ユー
ザーの割合

複数のCSPを利用する際の上位3つの共通課題。

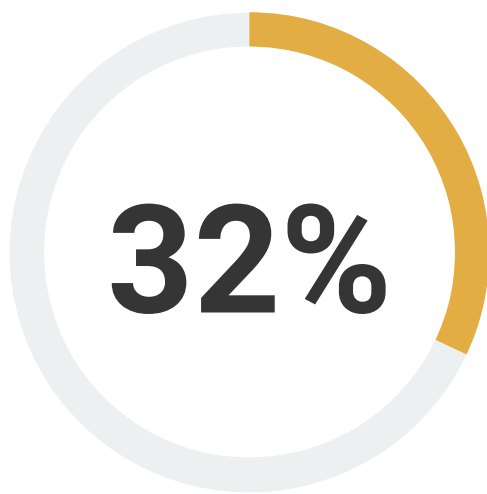
複数のクラウド チームまたは
IT職務チーム間での適切な**協調**、
協力関係の確保



複数のクラウド環境にまたがる
セキュリティの確保



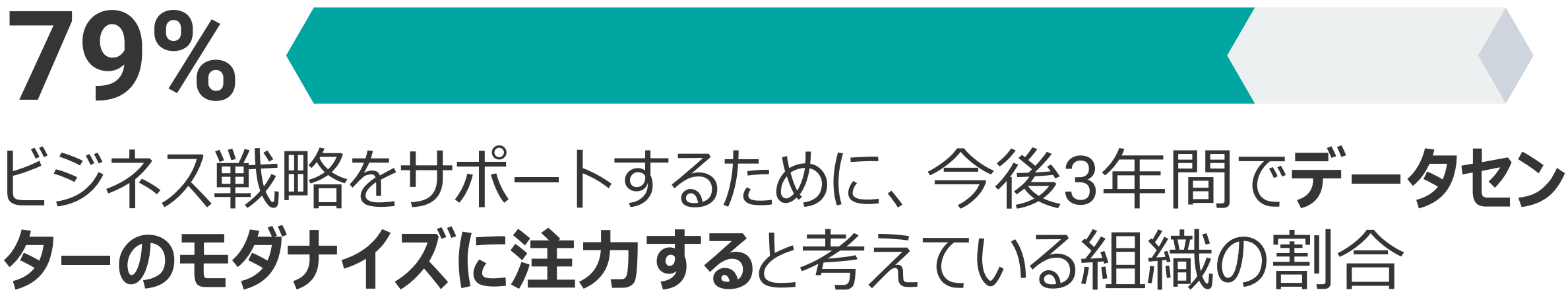
データセンターと複数のパブリッククラウド
サービス間でのアプリケーションとデータの
移行に費やす**時間と労力**



オンプレミスのモダナイ ズとDell Technologies Continuously Modern Storage



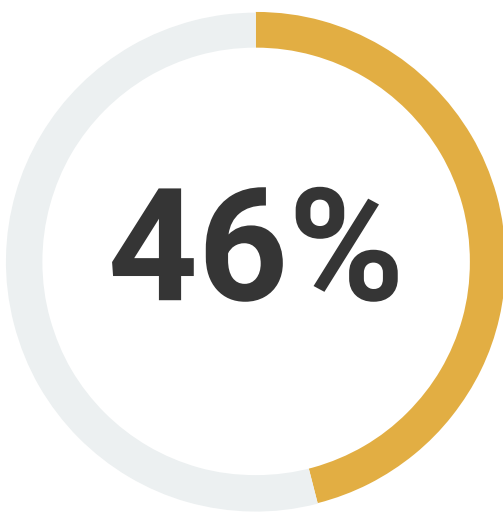
データセンターのモダナイズは、マルチクラウドの世界において依然として重要な課題となっています。



| 今後3年間のオンプレミスのデータセンター環境に関する戦略



パブリッククラウド インフラストラクチャとの**連携**や**相互運用性の改善**

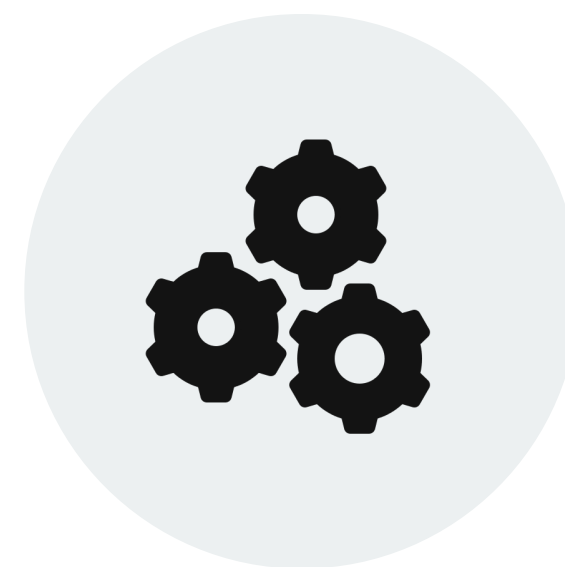


クラウドの使いやすさをオンプレミスに導入するテクノロジーへの**投資**

「データセンターは依然として活用されるものの、**同じ状態のままでは** **いられません。**」

ITリーダーは将来に備える必要があります。
ビジネスが止まることはなく、それはストレージも同様です。」

Dell Technologies Continuously Modern Storageであれば、以下により、必要なデータセンターのモダナイズに対応できます。



運用のオートメーションと
迅速化



統合型セキュリティ機能の
提供



分散マルチクラウド環境全体での
高い俊敏性の実現

Dell Technologies Continuously Modern Storage – 分散マルチクラウド環境向けのオートメーション

Dellのインテリジェントストレージ製品にはAIとCloudIQが組み込まれ、インテリジェントなインサイトを獲得し、プロアクティブにインフラストラクチャをモニタリングできます。



PowerStoreのアーキテクチャは適応力が高く、ネイティブ レプリケーション機能とMetroSyncレプリケーション機能を搭載し、サイト間で簡単にストレージを共有できます。PowerStoreの最新リリースでは、エネルギー効率が60%向上しています*。インテリジェントな自動化と、継続的にモダナイズされる適応性に優れた設計で、エンタープライズ ストレージをシンプルにします。

* PowerStoreOS 3.0を使用したPowerStore 1200のベース アプライアンス構成のワットあたりの最大IOPSを、PowerStoreOS 2.0を使用したPowerStore 1000のベース アプライアンス構成と比較したDellの分析に基づきます。実際の結果は異なる場合があります。



PowerMaxには、マルチアレイのスマート プロビジョニングとワークロードの最適化、正常性とコンプライアンスのモニタリングと修復、セットアップ時間を最大44%短縮できるNVMe/TCPネットワーク設定といった機能があります。



データ パスの最適化機能を備えた**PowerFlex**のソフトウェア定義 スケールアウト アーキテクチャは、パフォーマンスと容量を直線的かつ個別に拡張できます。APEX Block StorageではDell PowerFlexソフトウェアを使用しているため、お客様はパブリッククラウドで同じストレージを利用できます。

Dell Technologies Continuously Modern Storage – データのライフサイクル全体を通じたセキュリティと包括的なサイバー レジリエンスの確保

Dellは、総合的な脅威対策、検出、対応機能とともに、本質的に安全なストレージ ソリューションを提供して、データの安全性、保護、常時の可用性を確保しています。これらのソリューションでは、データの分離と不変性、異常検出、細分化されたリカバリーが提供されます。脅威インテリジェンスを集約し、アップストリーム セキュリティ プラットフォームにカスケードすることで、セキュリティの複雑さを解消するのに役立ちます。



Dellが設計した、堅牢なゼロ トラスト セキュリティ アーキテクチャに対応した**PowerMax**は、世界有数の安全なミッションクリティカル ストレージであると考えています。PowerMaxの機能としては、多要素認証、ランサムウェア起因の異常の継続的検出、オープン システム サーバーとメインフレーム用のネイティブ エアギャップ サイバー ヴォールトがあります。また、拡張性にも優れ、1アレイあたり6,500万件の不変スナップショットに対応可能であるため、高速な個別データリカバリーを実現できます。



Dell PowerProtect Cyber Recoveryは、重要なデータを保護、リカバリーする安全なヴォールト（オンプレミスとパブリッククラウドのどちらでも利用可能）を備え、ランサムウェア攻撃とマルウェア攻撃から組織を守ります。Dellによると、Dell PowerProtect Cyber Recoveryは最大99.5%の信頼性でデータの破損を検出できるといいます。



オンプレミスのDellインフラストラクチャの場合、**Dell CloudIQ**のAIOpsアプリケーションが、ランサムウェア攻撃の初期動作やシステム セキュリティの設定ミスを検出して、リスクを最小限に抑え、安全な体制を再構築し、リカバリーを迅速化します。



Dell Technologies Continuously Modern Storage – マルチクラウド エコシステムの柔軟性

Dellのソフトウェア デファインド ストレージは、オンプレミスとパブリッククラウドでハイパフォーマンス ワークロードを柔軟に管理できるようにします。

Dell APEX Storage for Public Cloudは、Dellのエンタープライズレベルのブロックおよびファイル ストレージ ソフトウェアをパブリッククラウドに提供し、拡張性、経済性、一貫性のある管理エクスペリエンスを提供します。



Dell APEX Block Storage for AWSは、Dellのソフトウェアデファインド ブロック ストレージである **PowerFlex**のハイパフォーマンス、直線的な拡張性、高度なデータサービスをAWSにもたらしめます。



Dell APEX File Storage for AWSは、**PowerScale OneFS**ファイル ストレージ ソフトウェアをAWSに提供し、マルチプロトコル サポート（NFS、SMB、S3）、SyncIQネイティブ レプリケーション、スナップショット、CloudPools、データ削減も提供します。



Dell APEX Protection Storage for Public Cloudは、データの保護と可用性を確保し、クラウドとオンプレミス ストレージ間またはクラウド間でのレプリケーションを可能にします。

まとめ

データの増加と多様化、そのセキュリティ確保、マルチクラウドの普及のいずれも、今や現実のものとなっています。今日の組織には、モダンITのこの種の側面をすべて最適化することが求められています。これはつまり、Continuously Modern Storageを至急実装し、活用する必要があるということにほかなりません。

デル・テクノロジーズは、IT業界の草分け的存在であり、先進的なストレージソリューションを幅広く提供しています。その広範なポートフォリオは、ストレージ、サーバー、ソフトウェア、ネットワーキングなどのITスタック全体を網羅しており、組織が大局的な視点でITエコシステムをシンプルにしていくのに役立ちます。Continuously Modern Storageに対するDellの具体的なアプローチは、ソフトウェアによるイノベーションと、インテル社の最新テクノロジーにより高度に専門化されたハードウェアによって実現されており、モダン ストレージ環境で必要とされるパフォーマンス、効率性、ハードウェア側対応のセキュリティを提供します。

AIOps、DevOps、セキュリティ、マルチクラウドに対する注目度が高まっている昨今では、ストレージ容量とパフォーマンスだけを考えれば良いというわけではありません。Dellは、PowerStore、PowerMax、PowerFlex、PowerScale、PowerProtect、CloudIQなど、自社のストレージ ポートフォリオ全体でソフトウェアによるイノベーションを推進しています。ソフトウェアのイノベーションこそ、Dellが過去数十年にわたりストレージ市場のリーダーとして君臨できた要因です。その意味では、同社が今後もインテル社の最新テクノロジーを活用したイノベーションを推進していくことは間違いありません。APEX Storage for Public Cloud製品の提供により、DellはIT組織にソフトウェア イノベーションをもたらし、現在と将来のITモダナイゼーションの取り組みに確かな影響を与えていくことでしょう。

[詳細はこちら](#)

DELLTechnologies

intel®



すべての製品名、ロゴ、ブランド、商標は、それぞれの所有者に帰属します。この資料に記載されている情報は、TechTarget, Inc.が信頼できるとみなしている情報源から入手したものです。TechTarget, Inc.によって保証されるものではありません。この資料には、TechTarget, Inc.の意見が含まれている可能性があり、それらは変更される可能性があります。この資料には、現在入手可能な情報に照らしたTechTarget, Inc.の前提条件と期待値を表す予測、予想、その他の予測的な記述が含まれている場合があります。これらの予測は業界のトレンドに基づいており、変動要素や不確実性を含んでいます。したがって、TechTarget, Inc.は、ここに記載されている特定の予測、予想、予測的な記述の正確性に関して、いかなる保証もしません。

本書の著作権は、TechTarget, Inc.にあります。TechTarget, Inc.の明示的な同意がない限り、ハードコピー形式や電子的方法などのいずれの方法においても、未承認者に対する複製や転載は、本書の全体または一部に関わらず、米国著作権法の侵害であり、損害賠償の民事訴訟、および該当する場合は、刑事訴追の対象となります。ご不明な点がございましたら、cr@esg-global.comのClient Relationsにお問い合わせください。



Enterprise Strategy Groupは、テクノロジー分析、リサーチ、戦略立案を行う統合企業であり、マーケット インテリジェンス、実用的な分析情報、ゴートウマーケット コンテンツ サービスを世界中のテクノロジー コミュニティーに提供しています。

© 2023 TechTarget, Inc. All Rights Reserved.